

デマンド型乗合タクシーシステム導入業務委託

No	仕様書の該当項目	質問内容	回答
1	3頁(4)①-ウ	「デマンド交通配車システムと連動するIP電話回線」の機能が提供され」との記載について、コールセンターに設置する電話回線は受託者で用意する認識ですが、IP電話回線ではなくアナログ電話回線で問題ないでしょうか。	音声通話が可能であり、かつ仕様書にてお示ししたその他の要件を満たしているのであれば、問題ありません。
2	3頁(4)①-エ	車載端末で通話機能を付与する予定とのことですが、走行中などの通話に際して利用するハンズフリーでの通話を想定していますでしょうか。その場合にハンズフリー用の機材は必要でしょうか。	必要に応じてオペレーターとドライバーが車載タブレットで通話することは想定しておりますが、その際ドライバーがハンズフリーで通話することは想定しておりませんので、ドライバー用のハンズフリー機材は必要ありません。
3	4頁②-イ	タブレット端末からの通話については、タブレット端末にプリインストールされている通話アプリからの発着信で可能ですので、通話アプリでの発着信で運用する形でよろしいでしょうか。	オペレーターとドライバーがタブレットを通じての音声通話が可能であれば、問題ありません。
4	4頁③-エの関連	実証期間後のシステムの取り扱いと本稼働について、370日間データを保持するとありますが、実証期間後に370日間の間はデータの取り出しなど、システム利用を行う予定はありますか。また、実証期間後に本稼働の予定はありますか。	実証期間後に検証を行う予定ですので、370日間はデータ抽出を行う可能性があります。 また、本実証運行は、公共交通のセーフティネットとしての移動手段の効果検証を目的に実施しており、本実証運行後に検証を行い、本稼働の有無も含む今後の方向性を決定します。